

27年12月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査1

1. 調査実施期間 平成27年12月1日～ 27年12月10日

2. 調査実施方法

全国の構造用集成材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
12月分の回答企業数は6社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) ラミナ荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/12月	28/1月	28/2月
入荷動向	国産材	20.0	△ 10.0	△ 10.0
	外材	10.0	0.0	0.0
在庫動向	国産材	△ 20.0	△ 20.0	0.0
	外材	△ 12.5	△ 12.5	0.0

・国産材ラミナの入荷は12月の増加が、28年1月、2月は減少。外材は12月の増加が、28年1月、2月は横ばい。

・国産材及び外材ラミナの在庫は12月、28年1月の減少が、2月は横ばい。

(2) ラミナ購入価格動向 Weight. D. I.

品目	27/12月	28/1月	28/2月
国産材	△ 10.0	△ 10.0	△ 20.0
欧州材	0.0	△ 12.5	0.0
その他	0.0	0.0	0.0

・国産材ラミナの価格は弱含みで推移。欧州材は12月の横ばいが、28年1月は弱含みで、2月は横ばい。その他は3ヵ月連続して横ばい。

モニターからのコメント

(ラミナ荷動き)

・入荷順調、徐々に在庫増の見通し。
・プレカット工場の稼働率が急激に上昇し、荷動きが活発化。急激な在庫減にさらされている。2月、3月に落ち着くのではないかとの見方。

(ラミナ価格動向)

・1月入荷分から為替円高に振れた分下がる。
・忙しいものの最終製品の単価は上がらず、原料ラミナも値上がり状況ではない。2月、3月の落込みがあるかもしれない。

27年12月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査2

(3) 構造用集成材荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/12月	28/1月	28/2月
生産動向	国産材	25.0	△ 25.0	△ 16.7
	WW集成管柱	0.0	△ 33.3	△ 16.7
	RW集成平角	0.0	△ 12.5	△ 37.5
	米マツ集成平角	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0
	WW集成平角	—	—	—
出荷動向	国産材	25.0	16.7	△ 16.7
	WW集成管柱	0.0	△ 16.7	△ 16.7
	RW集成平角	25.0	0.0	△ 25.0
	米マツ集成平角	0.0	△ 25.0	△ 25.0
	WW集成平角	—	—	—

・国産材集成材の生産は12月の増加が、28年1月、2月は減少。RW集成管柱及びRW集成平角は12月の横ばいが、28年1月、2月は減少。米マツ集成平角は3ヵ月連続して減少。

・国産材集成材の出荷は12月、28年1月の増加が、2月は減少。WW集成管柱は12月の横ばいが、28年1月、2月は減少。RW集成平角は12月の増加が28年1月は横ばい、2月は減少。米マツ集成平角は12月の横ばいが、28年1月、2月は減少。

(4) 構造用集成材出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	27/12月	28/1月	28/2月
スギ集成管柱	△ 12.5	△ 25.0	△ 25.0
ヒノキ集成柱	0.0	0.0	0.0
ヒノキ集成土台	50.0	0.0	0.0
カラマツ集成土台	0.0	0.0	0.0
WW集成管柱	0.0	0.0	0.0
RW集成平角	0.0	0.0	0.0
米マツ集成平角	0.0	0.0	0.0
WW集成平角	—	—	—
米ヒバ土台角	0.0	0.0	0.0
カラマツ集成平角	—	—	—

・スギ集成管柱の出荷価格は弱含み。ヒノキ集成柱は3ヵ月連続して横ばい。ヒノキ集成土台は12月の強含みが、28年1月、2月は横ばいに。

・カラマツ集成土台は3ヵ月連続して横ばい。

・WW集成管柱、RW集成平角、米マツ集成平角及び米ヒバ土台角は3ヵ月連続して横ばい。

モニターからのコメント

(構造用集成材荷動き)

- ・2月から平角は生産減少の見通し、出荷は2月から減の予測。
- ・生産量を増やして、受注したものの安定供給に努めている。米ヒバ集成土台角は国産材に比べると安定した生産をキープ。出荷量は11月よりもさらにピークを迎えている。特に国産材の需要に拍車がかかっている。2月以降の需要の急激な減速に警戒。

(構造用集成材出荷価格動向)

- ・値上げしたいが、通らないと思う。
- ・価格の上昇は見込めない。